

## 報告書

2024年10月14日

2024年全日本テニス選手権大会 視察及び意見交換

報告者:井本善友

期間:2024年10月2日~10月12日

場所:有明テニスセンター

内容:大会の視察及び大会関係者、ナショナルコーチ、S級ライセンス保有者をはじめ、全日本テニス選手権にいられている指導者との意見交換

### 活動目的

日本のテニス界の現状把握を第一に多くの関係者にヒヤリングを行い、今後に向けて財団として活動の方向性を認識することを目的とする。

### 所感

日本テニス協会からは、吉川真司(女子ナショナルコーチ)、近藤大生(大会アシスタントディレクター)、北村哲(強化育成本部副本部長)など、現場で活躍されている方々と直接お話をする機会をいただいた。

現状の日本テニス界が直面している課題、その打開策や今後の方針など、話は多岐に渡った。

選手を帯同されている指導者の方々とは、全日本テニス選手権の現状と課題、選手育成での問題点や海外選手の情報など、今後の活動に役に立つ情報を沢山聞かせていただいた。

多くの方々が日本テニスの未来に危機感を持っており、早急に対策をしなければ日本テニスが衰退することが明白であることは全員の共通認識であった。日本テニス協会は全力で打開すべく

活動されているが、大きな組織であるが故の問題も抱えているようである。

我々のような小規模な団体が活動を活発に行うことで、

- ①するテニス
- ②見るテニス
- ③応援するテニス

の3方面で、テニスにより多くの人々を巻き込めるような活動と環境作り、またそれを支える方々の環境整備、より多くのトップ選手を育成・強化できる環境と指導者育成などを地方レベルから活性化させることで、全国のモデルケースとなるべく、今後もより積極的に活動をしていきたい。